

## 平成27年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

### ◎予算編成のポイント

- ・ 地球温暖化対策は、世界的な課題であると同時に、県民生活に密接に関係する重要な課題であり、県民、国民挙げての取り組みが求められていることから、省エネ・節電対策として、本県独自の取組である「いしかわ版環境ISO」や省エネ住宅の普及促進など、地球温暖化対策の一層の充実・強化を図る。
- ・ 豊かな自然を県民共有の財産として後世に継承し、潤いのある生活環境を維持・創出するため、里山や里海に代表される本県の多様な自然環境や美しい景観を適切に保全再生し、自然と人とが共生できる社会づくりを進める。

### ◎重点主要施策の概要

- 家庭版環境ISO取組家庭を2020年（H32）までに4万家庭へと倍増する目標に向け、「省エネ・節電アクションプラン」を推進するほか、新たに親子向けイベントを実施するなど、子育て世帯の取組を促進し、取組の裾野の拡大を図る。  
また、エコ住宅の整備促進として、省エネ性能の高い新築住宅への支援をおこなうとともに、省エネ改修を行う既存住宅に対する支援の充実を図る。
- 小規模な下水処理場におけるメタンガスの有効活用として、いしかわモデルのメタン発酵技術の普及を図るため、県内の全市町で構成する研究会を立ち上げるほか、全国規模の展示会への官民共同出展などを通じて、全国の自治体に対しても広く発信する。
- 水道用水供給事業においては、県水送水管の耐震化（2系統化）を引き続き推進し、水道用水の安定供給と県民の安全・安心を確保する。また、受水市町の責任水量を本年4月から10%引き下げ60%とすることで、市町の負担軽減を図る。
- トキの分散飼育地として、種の保存に貢献できるよう、引き続きトキの飼育・繁殖に万全を期すとともに、公開展示に向けた準備を進めることとしており、来年度は、いしかわ動物園で「いしかわトキふれあいセンター（仮称）」の工事に着手する。併せて、出前講座の開催などを通じ、公開展示の機運の醸成を図る。  
また、クマやイノシシなどの野生鳥獣について、市町との連携を図りながら、人身被害や農林業被害の軽減のための対策を強化する。

平成27年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 省エネ・節電対策を始めとした地球温暖化防止の取組		
・ いしかわ版環境ISOの推進	18,642	省エネ・節電項目を充実強化して取り組む「省エネ・節電アクションプラン」や、エコファミリー倍増プロジェクトの推進など 取組強化期間(7～9月)の取組実績に基づくエコチケットやエコギフト交付等インセンティブの付与 ◎親子向けイベントの実施
・ ◎家庭版環境ISO認定家庭へのプレミアムクーポン配布事業費	40,000	エコファミリーを対象とした「プレミアムクーポン」の配布
・ いしかわクールシェア推進事業費	2,800	夏季期間中、商業施設などの冷房空間を共有し、家庭の消費電力を抑制する「クールシェア」の推進 取組期間 7～9月の3か月間 クールシェアスポット協力施設・店舗の登録 登録施設・店舗でのサービスの提供 スタンプラリーの実施
・ エコ住宅整備促進事業費補助金	45,000	◎いしかわ住まいの省エネパスポート制度を導入した改修住宅に対する支援など
・ エコリビング普及促進事業費	8,200	建物(ハード)・住まい方(ソフト)の両面から住宅の省エネ化を促進 エコ住宅、エコ改修技術者の養成 いしかわ住まいの省エネパスポートの普及 ドイツハム市エコセンターとの技術交流
・ 企業エコ化促進事業費	3,271	企業のエコ化、エコ関連産業への参入に向けた気運の醸成 いしかわエコデザイン賞の表彰
・ ◎いしかわエコものの発信力向上支援事業費	4,700	エコ製品等の普及への支援 PR力向上に関するセミナーの開催など
・ いしかわの森整備活動二酸化炭素吸収量認証事業費	1,000	企業等の森づくり活動成果を評価のうえ、二酸化炭素吸収証書を発行
・ 県民エコステーション事業費	23,462	地球温暖化対策活動の推進 いしかわ近未来の環境技術展の開催、事業者版環境ISO制度の審査など 交流・活動支援、環境教育の推進 環境保全団体への活動費助成、講師の派遣など 普及啓発 環境情報の提供、環境ライブラリーの整備など

事業名	金額(千円)	説明
・メタン活用いしかわモデル普及事業費	5,515	◎全国の展示会への官民共同出展、県内外の市町村への周知など
<b>2 環境負荷の少ない社会づくり</b>		
<b>(1) 循環型社会の形成</b>		
・ゼロエミッション推進事業費	11,814	アドバイザー派遣による企業の廃棄物減量化の推進、廃棄物の排出量実態調査の実施、自動車リサイクル法に基づく事業者指導など
・リサイクル型社会構築推進事業費	563	石川県エコ・リサイクル製品の認定 H26.4.1現在の認定製品 98製品(47企業)
・海岸漂着物地域対策推進事業費	103,137	海岸漂着物の回収・処分など(11市町実施予定)
・不法投棄等不適正処理防止対策事業費	16,714	産業廃棄物監視機動班による立入調査など
・PCB廃棄物処理対策事業費	7,338	環境再生保全機構の「PCB廃棄物処理基金」への出捐 基金総額560億円(国1/2 都道府県1/2)
・産業廃棄物処理推進費	7,181	産業廃棄物処理施設への立入調査・指導・放流水調査など 対象:188事業所(1~6回/年)
<b>(2) 生活環境の保全</b>		
・石川県再生可能エネルギー等導入推進事業費	958,255	災害発生時における避難所等防災拠点施設の電源確保
・地盤沈下等対策費	12,562	地盤沈下の監視、地下水使用合理化の指導など
・水質環境基準等監視調査費	41,878	工場・事業場の排水水質監視・指導、河川・湖沼、海域の水質監視など
・飲料水安全確保対策費	2,658	飲用井戸の水質検査など
・閉鎖性水域水環境保全事業費	4,469	水辺植生の保全管理など
・生活排水処理施設整備普及促進費	110,504	生活排水処理施設整備普及促進費補助金等 市町実施の生活排水処理施設整備事業への補助 七尾市以下11市町
・農業集落排水事業費	351,411	施設の新築・改築等 新規11地区、継続9地区(◎金沢市別所地区ほか)
・流域下水道の整備	1,143,675	犀川左岸流域下水道(犀川左岸処理区) 674,525 千円 加賀沿岸流域下水道(梯川処理区) 221,975 千円 加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区) 247,175 千円

環境部

事業名	金額(千円)	説明
・ 県水送水管の耐震化(2系統化)	4,000,000	水道用水の安定供給と県民生活の安全・安心を確保するため県水送水管の耐震化(2系統化)を推進
・ ⑧ 責任水量の引き下げ(70%→60%)		市町の県水受水費の軽減
・ ⑨ 責任水量引き下げ後における水道用水供給事業の健全経営の確保に向けた支援	3,000,000	一般会計からの財政支援
・ ⑩ 鶴来浄水場運転監視業務委託費	30,964	鶴来浄水場の運転監視業務の民間委託
・ 大気汚染監視費	86,732	大気汚染監視網管理費 63,185 千円 環境測定局 17局 自動車排出ガス測定局 1局 移動測定車 1台 大気監視測定機器整備費 21,901 千円 有害大気汚染物質監視調査費 1,646 千円
・ 酸性雨調査費	2,159	陸水、土壌・植生モニタリング調査、酸性雨実態調査
・ ダイオキシン対策費	8,508	常時監視の実施 一般環境調査 大気、公共用水域の水質・底質、地下水、土壌 発生源周辺地区環境調査 一般廃棄物、産業廃棄物焼却施設周辺環境調査
・ 化学物質等環境汚染対策費	2,064	化学物質の環境中残留濃度実態調査
・ アスベスト対策費	15,001	石綿健康被害救済基金への拠出など
・ 環境影響評価審査費	1,145	「環境影響評価法」及び「ふるさと環境条例」に基づく環境影響評価方法書、準備書の審査
・ 中国江蘇省との地域活性化交流の推進	3,105	土壌汚染対策にかかる技術支援
3 自然と人との共生		
(1) 多様な主体の参画による里山里海づくり		
・ いしかわ版里山づくりISO推進事業費	3,800	企業、団体、学校など多様な主体が取り組む里山里海の保全活動等を県が認証し、活動団体のネットワーク化を推進
・ ⑪ 里山保全活動参加者へのプレミアムクーポン配布事業費	5,000	保全活動参加者を対象とした「プレミアムクーポン」の配布
・ 里山のパートナーづくり推進事業費	4,920	企業等による里山づくりを促進させるためのセミナー・企業と里山の交流会の開催、都市住民による農村ボランティア活動の促進にむけた支援
・ 里山の森づくりボランティア推進事業費補助金	3,700	NPO、地域団体等が行う里山林等の保全活動への助成

事業名	金額(千円)	説明
・ SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク推進事業費	2,400	国内におけるSATOYAMAの利用や保全の取組の裾野拡大、質的向上を図るため、普及啓発や情報発信の推進、現地視察等の開催
・ いしかわグリーンウェイ2015開催事業費	1,000	県内各地の学校等における一斉植樹活動
・ いしかわ里山サウンドウェイブ事業費	1,720	MISIAの協力による生物多様性普及啓発ラジオ番組の放送など
(2) 自然と人が共生できる社会づくり		
・ トキ分散飼育費	26,623	いしかわ動物園での飼育繁殖の実施
・ トキ公開展示準備費	1,017,000	公開展示施設の整備、㊦啓発講座の実施
・ 大型獣対策事業費	16,700	里山周辺のクマ対策の促進 ㊦里山周辺のクマ対策に向けた手引きの作成 イノシシ・ニホンジカの生息状況の把握 ㊦イノシシの個体数推定調査の実施 ニホンジカの県内分布状況調査の実施
・ 有害鳥獣捕獲者育成推進事業費	3,024	㊦狩猟免許試験回数増(3回→4回) ㊦捕獲補助者の養成支援など
・ 希少野生動植物の保護及び外来生物対策費	4,269	条例に基づく県指定種の保護と普及啓発 指定種のモニタリング調査 緊急性の高い指定種の保護増殖事業 特定外来生物対策
・ いしかわ自然学校推進事業費	7,496	行政、民間団体、事業者が連携し、各種自然体験プログラムを提供する事業への助成
・ 夕日寺健民自然園管理費	12,514	夕日寺健民自然園の指定管理者制度の導入
・ 国定公園等環境整備事業費	18,287	国定公園内の老朽化した施設等の改修 瀨門園地等の整備(県事業) 能登千里浜休暇村野営場の整備(県事業)